Panasonic

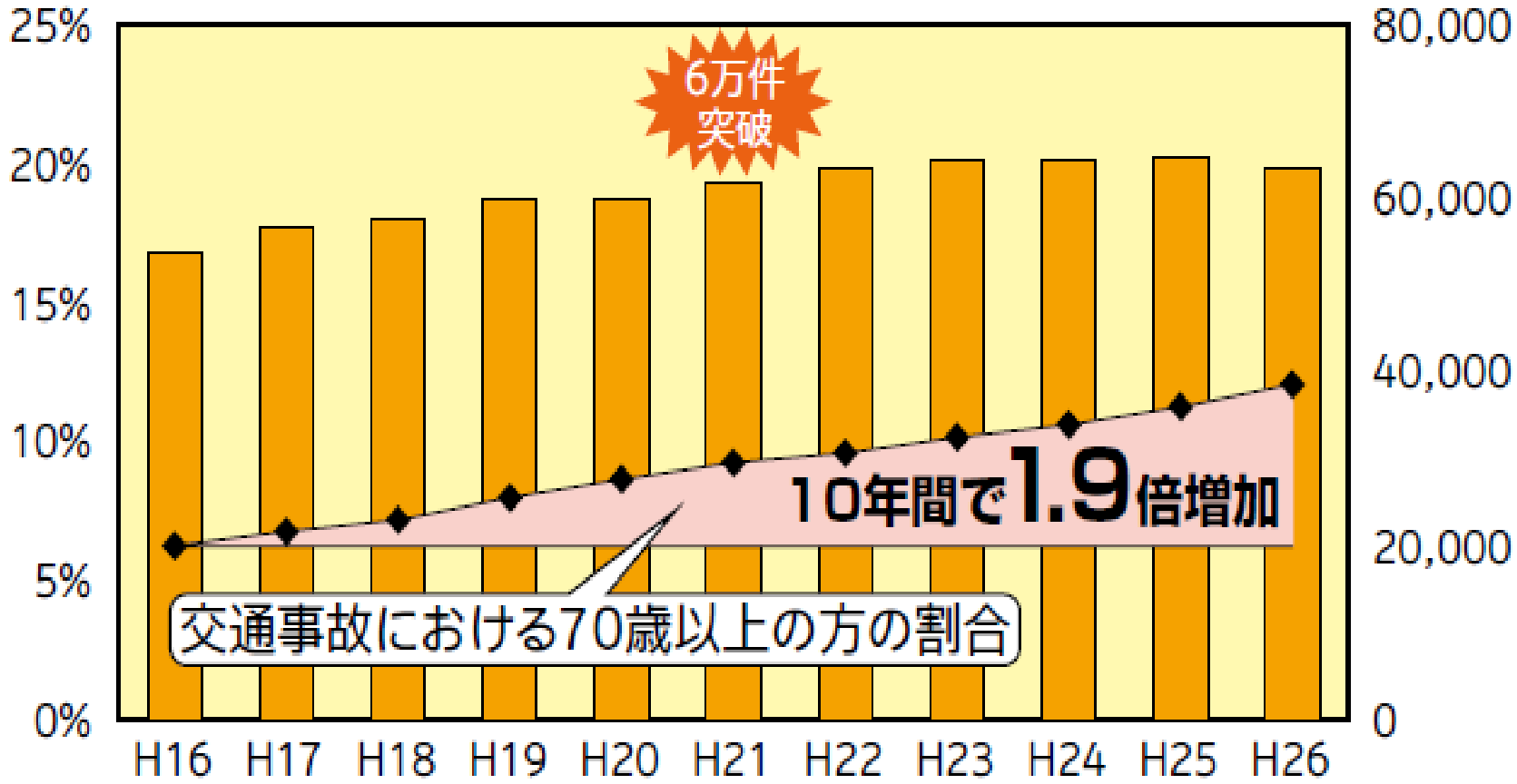
パナソニック松愛会 茨木摂津支部 様
安全運転セミナー

2019年5月26日

パナソニック保険サービス株式会社

高齢者事故の増加

70歳以上の方の交通事故件数推移



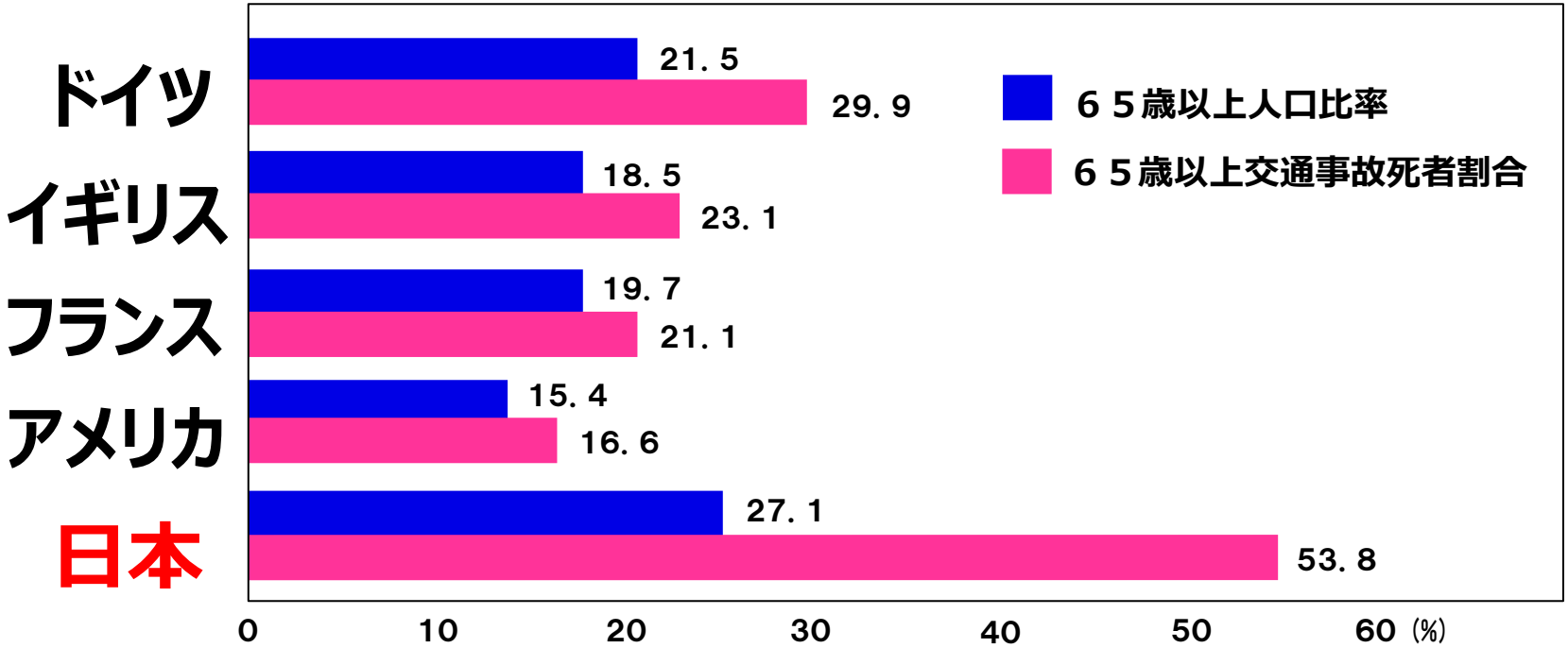
※ 警察庁交通局統計より

70歳以上の方の交通事故件数

高齢者死亡事故の比較

65歳以上の人口比率と交通事故死者構成率

2017年データ



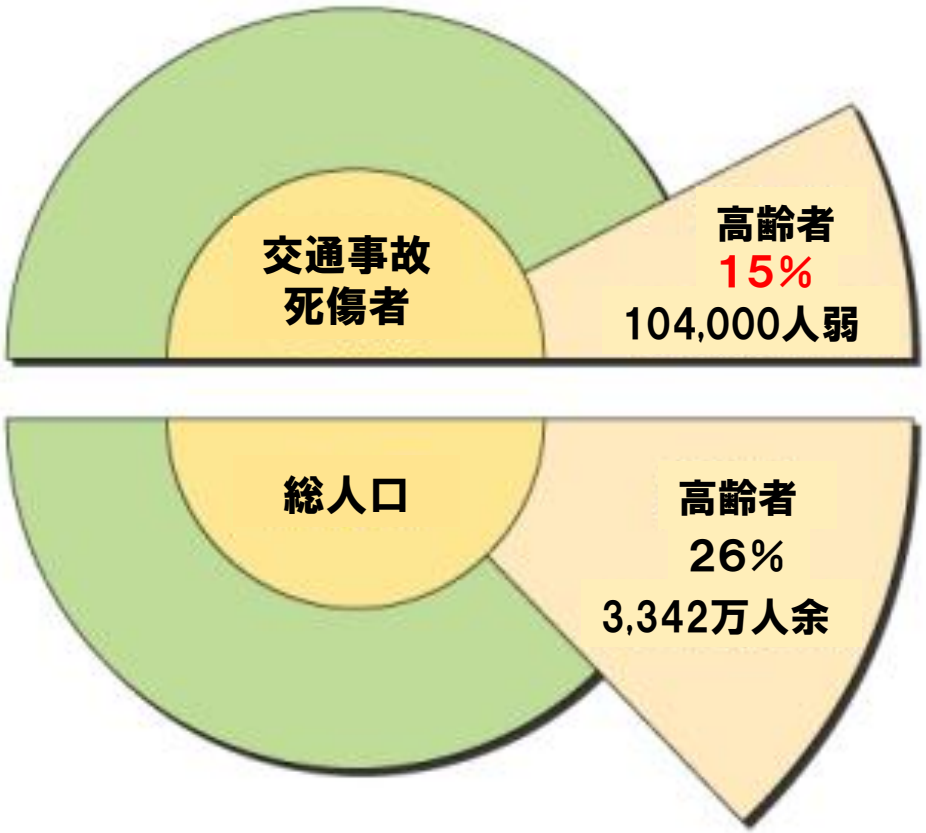
※　交通事故分析センター資料より

交通事故死者数は欧米主要国に比べて際立って高い

交通事故死傷者に占める高齢者の割合

交通事故死傷者の７人に一人は高齢者

2017年データ

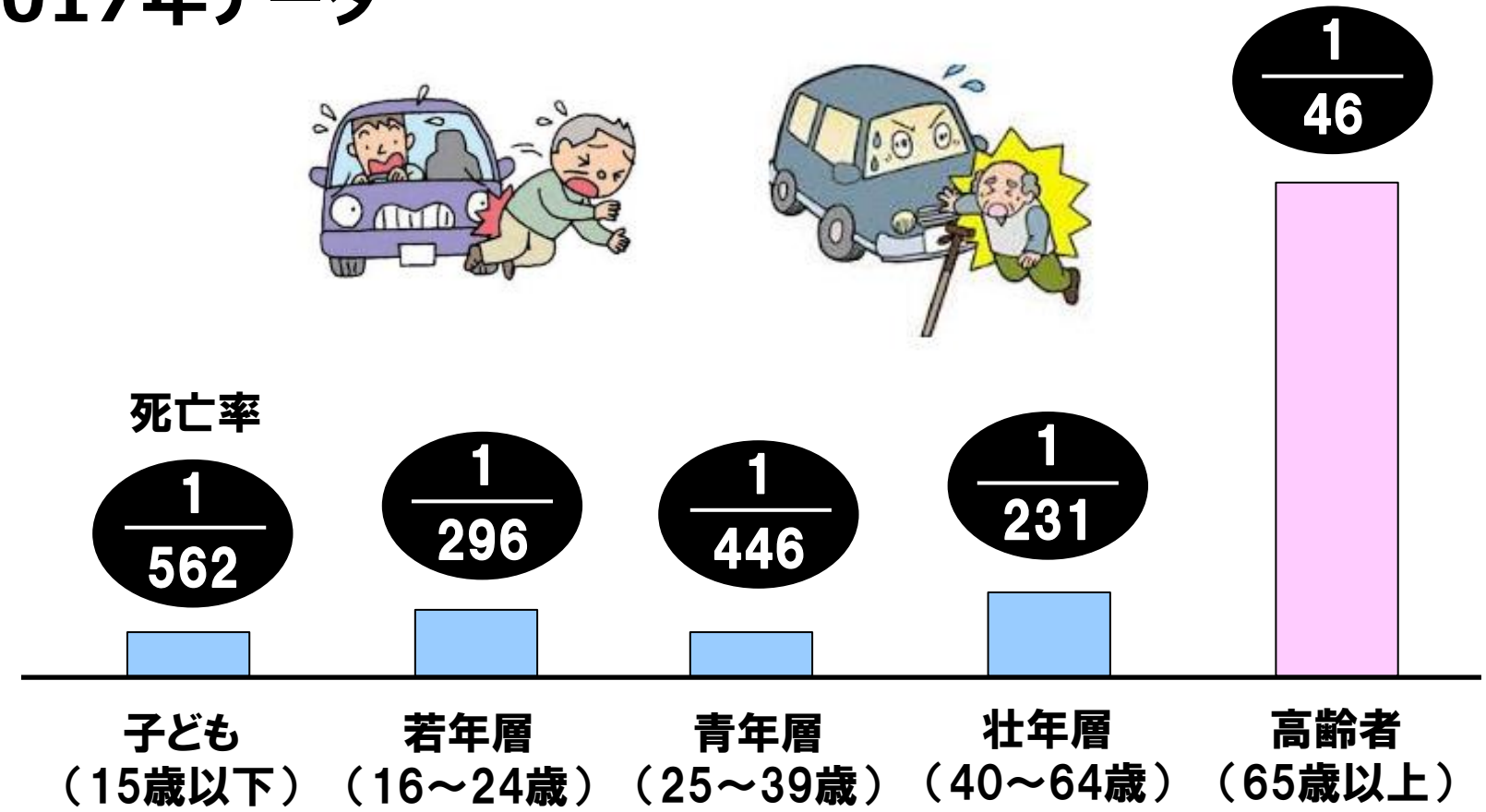


※　総務省統計局統計資料、交通事故分析センター資料より

年齢層別での交通事故死傷者の死亡率

高齢者の死亡率は非常に高く、子供の約12倍

2017年データ

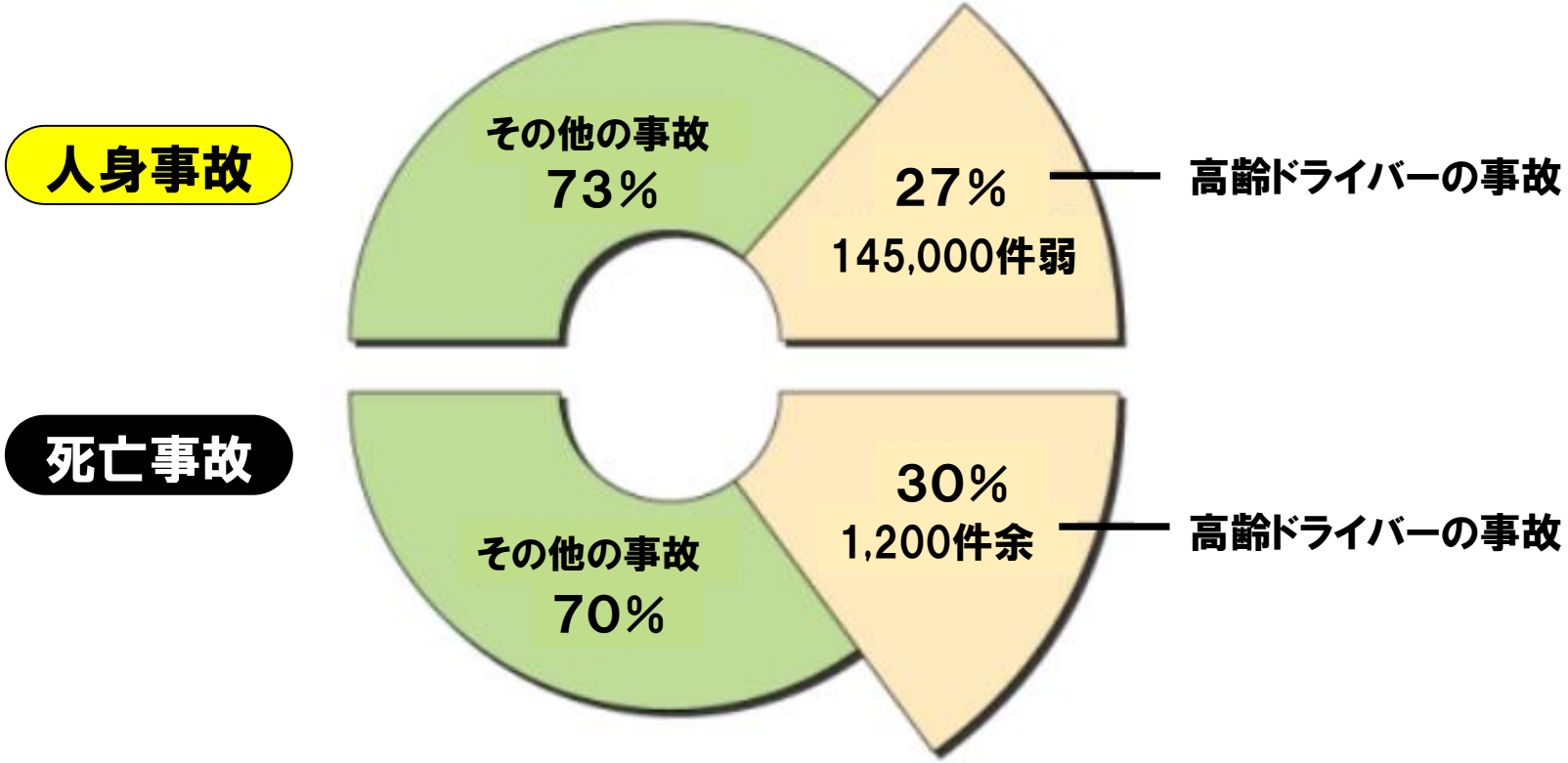


※　交通事故分析センター資料より

交通事故全体での高齢ドライバーの事故の割合

人身交通事故全体の４分の１以上を占める

2017年データ

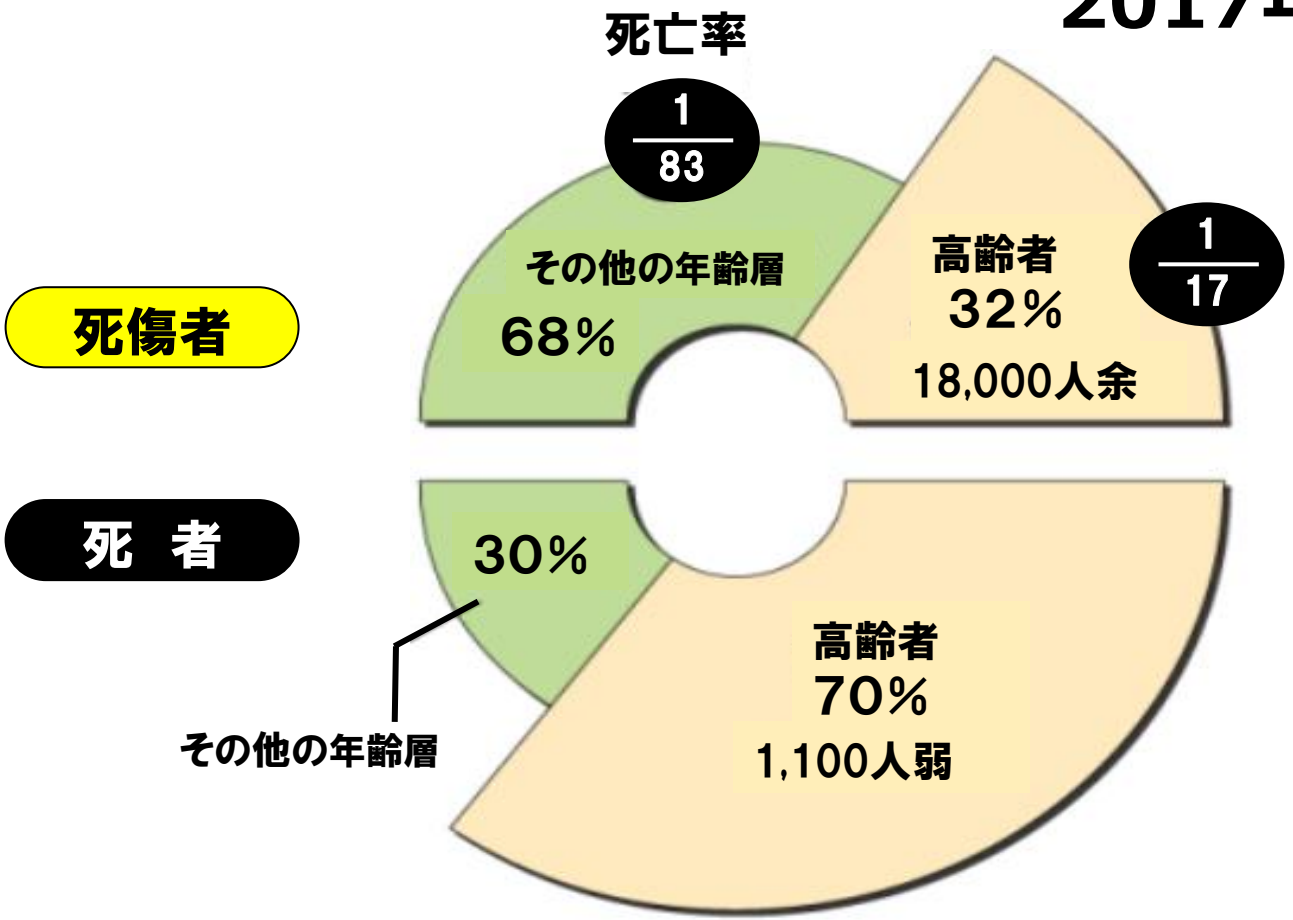


※　交通事故分析センター資料より

歩行者事故死傷者での高齢者の割合

高齢歩行者は死亡する率が非常に高い

2017年データ

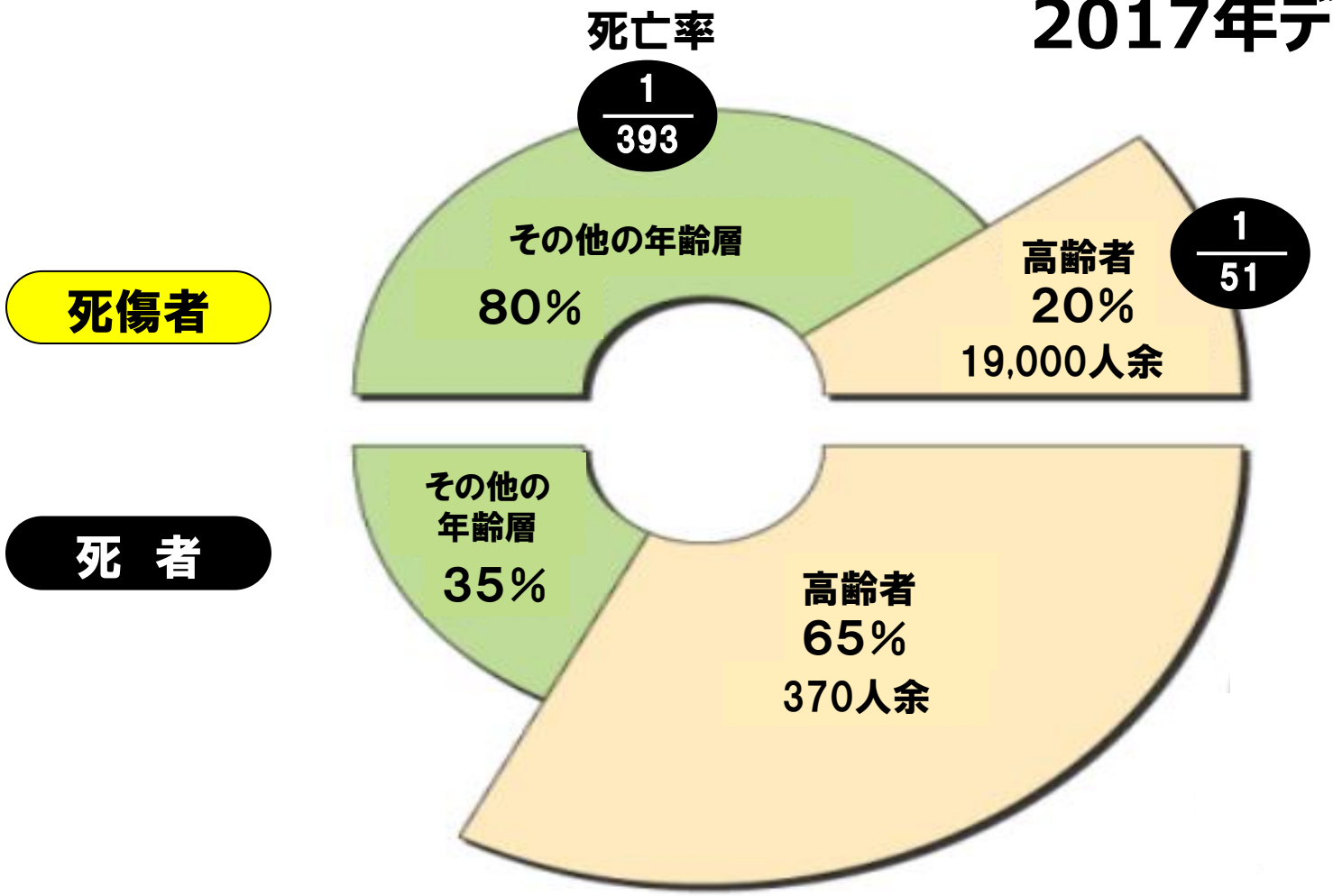


※　交通事故分析センター資料より

自転車事故死傷者での高齢者の割合

自転車事故による死者の60%以上が高齢者

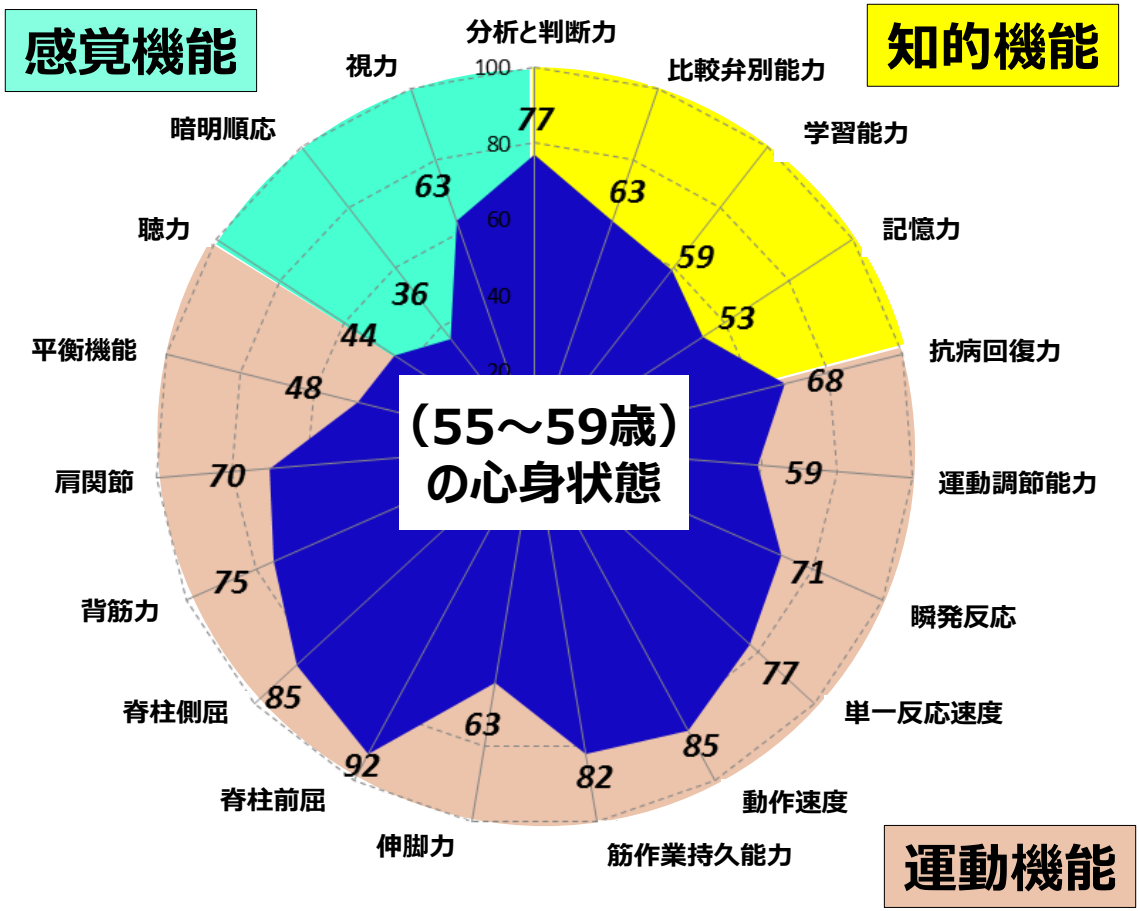
2017年データ



※　交通事故分析センター資料より

加齢による心身機能の低下

人の心身の機能は24歳をピークに老化が始まる



◆心身機能のピーク時を１００とした場合の
55～59歳における心身機能の状態を示したグラフ

- **感覚機能の低下**
  ⇒ 情報収集の遅れ・見誤り・見落し
- **知的機能の低下**
  ⇒ 判断力の遅れ・誤り
- **運動機能の低下**
  ⇒ 運転操作の遅れ・誤り

※　斉藤一著「向老者の機能の特性」より

高齢者の行動特徴

・動体視力の衰えや反応時間の遅れがある。

・歩く速度が遅く、よろけることがある。

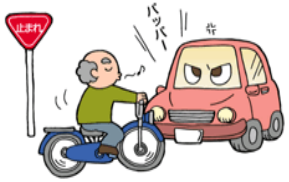
・目や耳の機能の衰えで、危険に気づきにくい。

・車が来ても構わずに横断することがある。

・相手が避けてくれるとの思い込みが多い。

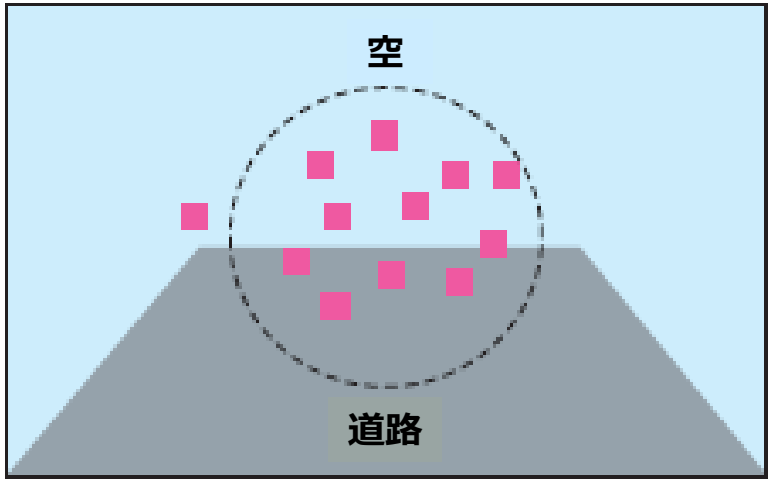
・過去の経験にとらわれる傾向がある。

・注意力・集中力・判断力が低下している。

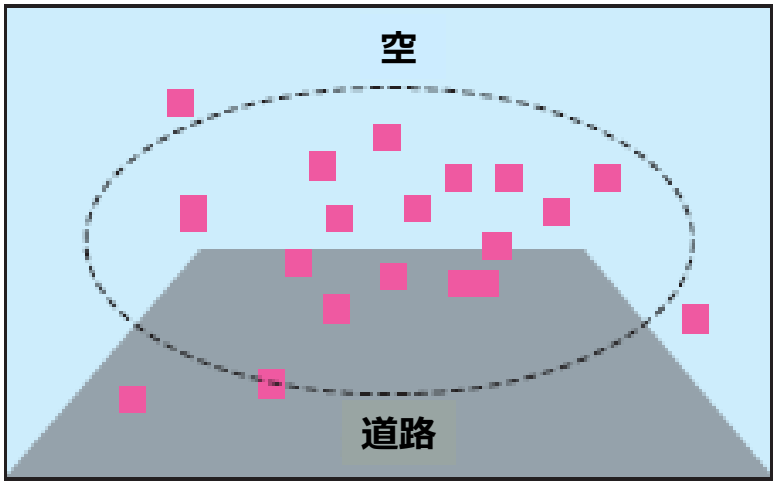


動体視力の低下

四輪車運転時の視線の動く範囲（模式図）



高齢者



若者

高齢ドライバーの視線は視野の左右に広がらない

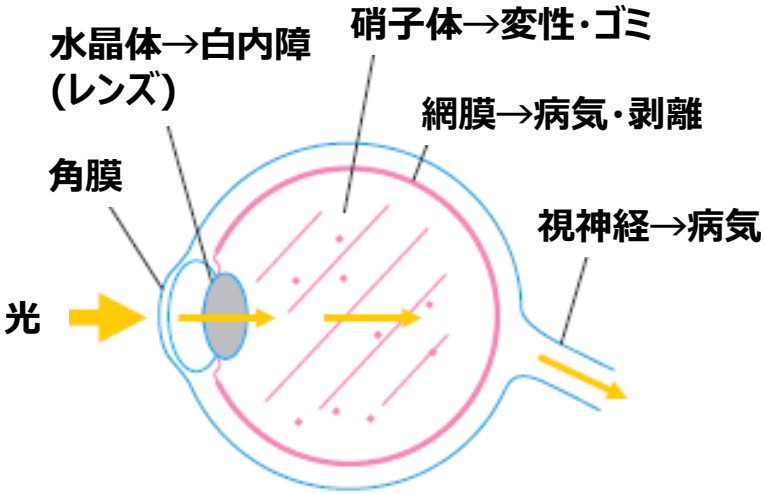
１ケ所に集中せず、努めて左右を見るようにする

夕暮れや夜間の運転で見づらくなる

一番多い変化は「暗い運転場面での視力の衰え」

紫外線を浴び年齢とともに眼球の水晶体が濁ってくる

「対向車や信号機のライトが
まぶしく、眼に刺さる」との感覚



眼球の断面と加齢による変化

昼間はサングラスをかけて運転することも良い

運転の高齢化を防ぐ

運転の高齢化とは、「運転が年をとる」こと

思い込みが強くなる

変化に気づかなくなる

スポーツと同様に運転においても色々な経験を積んで応用を繰り返している内にそれが普通になる。そして慣れてきて、いつの間にか基本を見失い、ミスしやすくなる。

運転姿勢、目視、一時停止など基本を確認する

チェックすべき運転行動

大事なことは本人が運動能力の衰えを自覚すること

No	項目	チェック
1	行き先・目的地を運転中に忘れる	
2	中央線・センターラインの不注意	
3	車庫入れ・枠入れの失敗	
4	道路標識・信号機の理解	
5	速度制限・速度の維持	
6	交通環境への注意力維持	
7	運転操作（ブレーキ・ギアチェンジ等）	
8	自動車のメンテナンス（ガソリン・オイル等）	
9	他の交通者への注意維持（歩行者・自転車等）	
10	車間距離の維持	

※高知大学　上村直人医師の作成による

あなたの運転は大丈夫？

認知機能が低下したと感じる点で回答が多かったもの

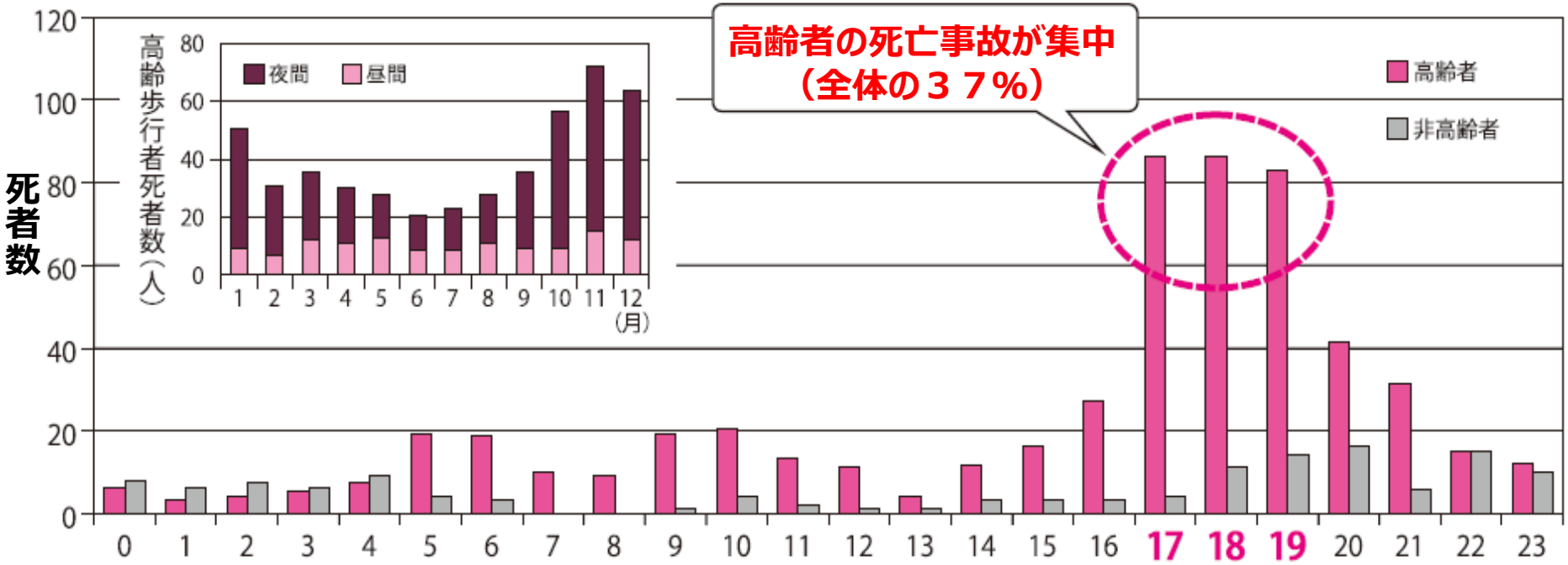
1. 以前ほど車の汚れが気にならず、あまり洗車をしなくなった
2. 好きだったドライブに行く回数が減った
3. 車のキーや免許証などを探し回ることがある
4. 高速道路を利用することが苦手になった
5. スーパーマーケットなどの駐車場で自分の停めた位置が分からなくなることがある

※ ＮＰＯ法人高齢者安全運転支援研究会アンケートより　回答総数=6,929人

高齢歩行者の道路横断中の事故

２０１７年　道路横断中の歩行者の死者数

※　交通事故総合分析センター資料より



事故類型：人対自動車、横断歩道以外横断中
第1当事者＋第2当事者

夕暮れ時の時間帯に死亡事故が多発している

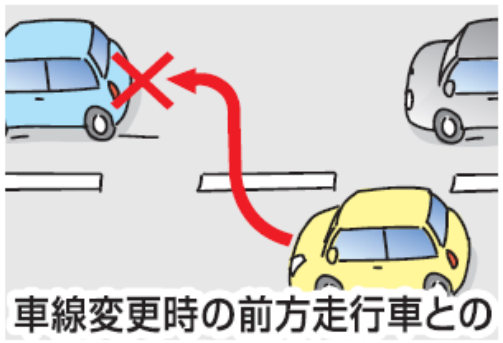
シニアドライバーの事故防止

安全不確認による事故が最も多い

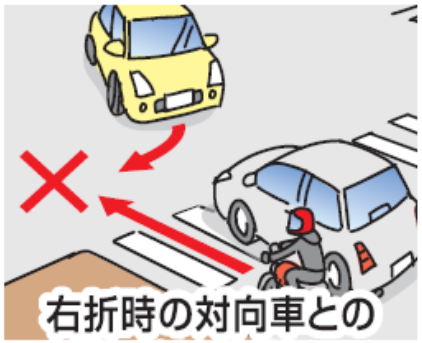
シニアドライバー 34.8% ⇔ **全年齢層 30.6%**

※ 交通事故総合分析センター資料より

信号のない交差点での出会い頭事故



車線変更時の前方走行車との接触事故



右折時の対向車との接触事故

構内でのバック時の物損事故

一度に複数箇所の確認が必要な時は特に注意する

ご近所こそ油断大敵

「いつも通る道だから」、「ちょっとそこまでだから」
「普段は車が通らないから」と油断しないこと

高齢者の死亡事故の多くは
自宅から500m圏内で発生している

「思いやり」運転５ケ条

お　横断の　邪魔はしません　お先にどうぞ

も　もう少し　渡り終わるまで　待ってます

い　一時停止から　出てくる自転車　予測する

や　夜間・夕暮れ　黒っぽい服　見落としません

り　理解して　相手の立場で　安全運転

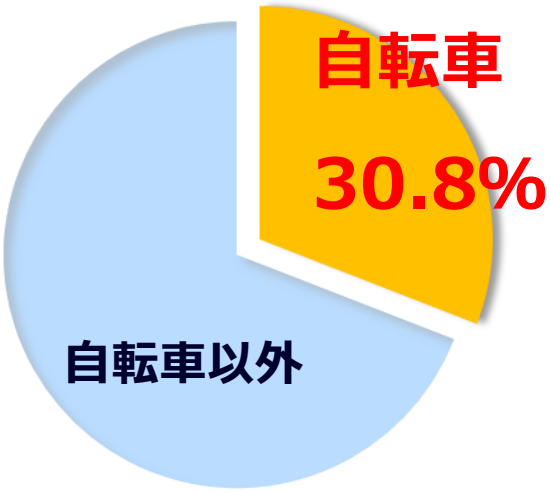
自転車交通事故の発生状況

大阪府
2017年

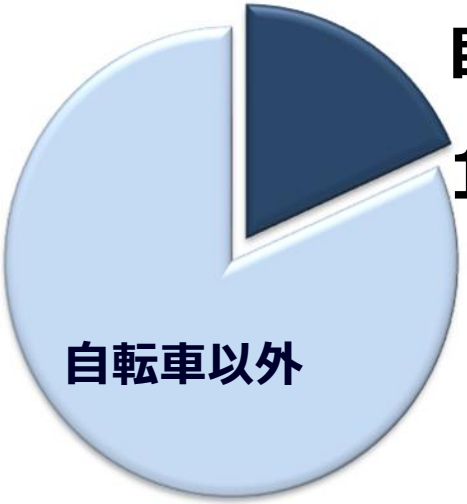
１１,０８９件

全事故に占める
自転車事故の割合

大阪府



全　国



参照：警察庁　2017年交通事故発生状況

大阪府の交通事故　平成29年統計

1日に約30件の自転車事故が発生

大阪では3件に1件が自転車事故！

自転車交通事故の発生状況

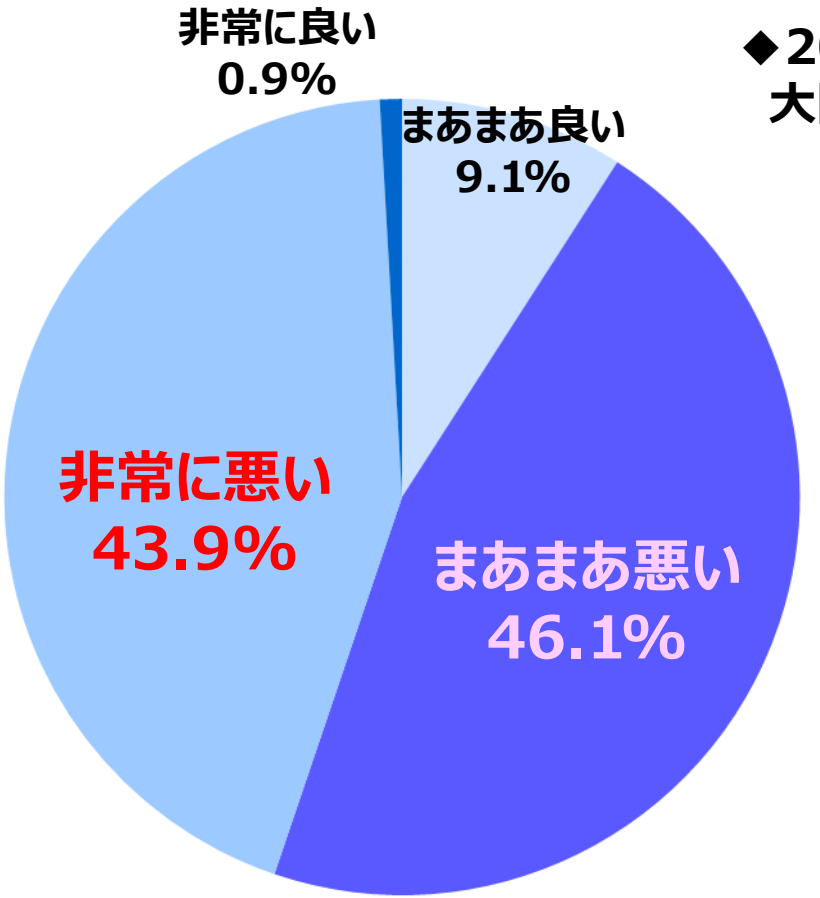
大阪府の自転車関連事故

件数、負傷者数は、2017年まで
全国ワースト1位！

◆全国ワースト順位

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
件　数	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 愛知	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 東京 2 大阪 3 愛知
死　者	1 愛知 2 東京 3 大阪	1 愛知 2 東京 3 大阪	1 大阪 2 愛知 3 埼玉	1 愛知 2 埼玉 3 大阪	1 大阪 2 愛知 3 埼玉	1 大阪 2 愛知 2 埼玉	1 東京 2 愛知 3 大阪	1 大阪 2 愛知 3 埼玉	1 東京 2 埼玉 3 大阪	1 愛知 2 埼玉 3 大阪	1 埼玉 2 愛知 3 千葉 4 大阪
負傷者	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 東京 2 大阪 3 埼玉	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 大阪 2 東京 3 愛知	1 東京 2 大阪 3 愛知

大阪市民の自転車マナーについて



◆2017/11実施
大阪市のアンケート調査より

否定的回答が90%に達しており、非常に多くの人がマナーの悪さを感じている

高齢者の自転車事故の原因は？

◆高齢者による自転車事故は1万8千件

2017年自転車事故は 93,400件
65歳以上の高齢者による事故は 18,490件
（全体の19.8%）

◆**出合頭の事故**が
群を抜いて多い。

◆交通量が少ない
裏道交差点で多い。

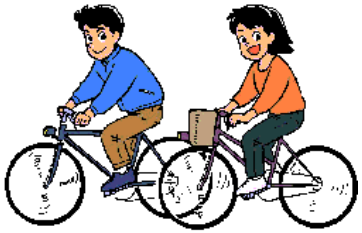
ランキング	事故態様	割合
1位	出会頭	53.1%
2位	右折時	16.6%
3位	その他	11.1%
4位	左折時	10.4%
5位	追越・追抜時	4.3%
6位	追突	2.3%
7位	すれ違い時	1.2%
8位	正面衝突	0.9%

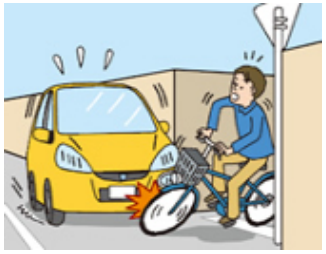
※ 自転車の安全利用促進員会資料より

自転車は誰でも乗れるがゆえに・・・

道路交通法では、**自転車は「軽車両」。**

自動車と違い、免許が無い・学科試験が無いので、細かい規則を理解していなくても、誰でも自転車に乗れる。
また、時には「歩行者」、時には「軽車両」という様に、**自分の都合・解釈で勝手に交通ルールを無視した人が非常に多い。**





自転車事故を防ぐには？

◆交通ルールを守る

事故の3分の2が自転車に乗っている人の**交通違反。**
安全確認を怠ったための事故が多い。

大阪府警の調査では、４人に1人が
車の方が止まってくれると思い込んでいる。
また、一時停止をしなくていいと思っている。

自転車事故を防ぐには？

◆高齢者が乗りやすい自転車を選ぶ

「サドルが低くなっている」もの。
「電動アシスト自転車」も
おすすめ。

◆前かごに荷物を載せすぎない

運転中のバランスが悪くなる。
ハンドルが重くなり危険回避が
取りにくい。

◆前後のブレーキを同時にかける

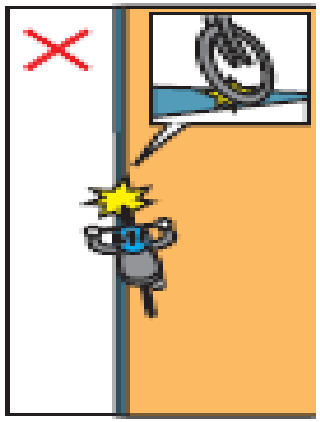
前後のブレーキを同時にかける

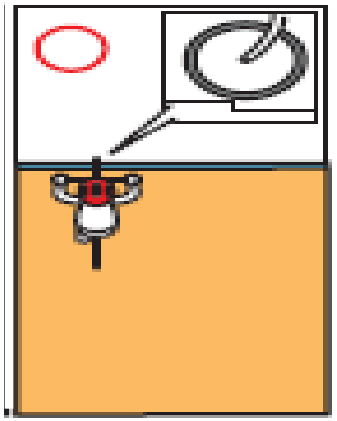
前だけを
かけすぎる
と・・・・・

後ろだけを
かけすぎる
と・・・・・

安全な乗り方

◆直角に近い角度で段差を乗り上げる

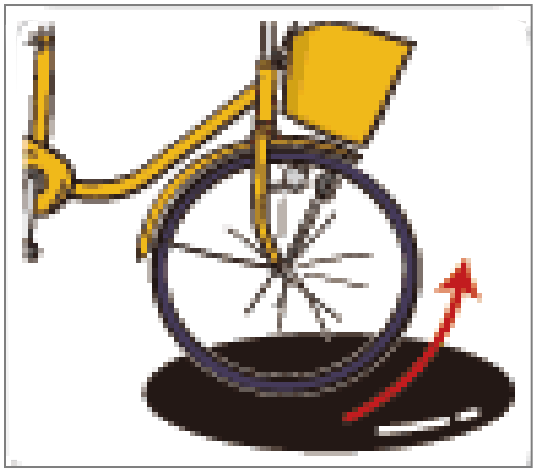




◆カーブでは手前でスピードを落とす

安全な乗り方

◆滑りやすい、はさまれやすい箇所に注意する



マンホール
のふた

側溝の
グレーチング

踏切の隙間
レール

自転車運転での安全利用五則

1	自転車は**車道が原則**、歩道は例外	
2	車道は**左側**を通行	
3	歩道は**歩行者優先**で、車道寄りを徐行	
4	**安全な乗り方・交通ルール**を守る	
5	子どもは**ヘルメット**を着用	

※平成20年6月改正の道路交通法および同施行令に準拠

交通ルールの遵守

★自転車の通行方法は、特別な場合のほかは自動車と同じ

★交通ルールを守ること

●交通標識の意味を理解する

一時停止、左側通行、右左折方法

道路標識

自転車は関係ないと標識を見ない人が多い

一時停止

自転車及び歩行者専用

標識　①

「車両通行止め」の標識はどちらですか？

A

B

標識　①　正解

「車両通行止め」の標識はどちらですか？

Ⓐ

自転車や原付自転車はもちろん
自転車などの軽車両の通行も
禁止されている

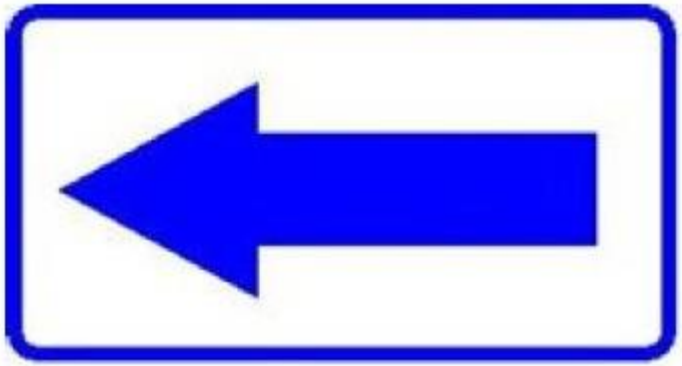
B

「車両進入禁止」

標識　②

常時左折可を意味する標識はどちらですか？

A

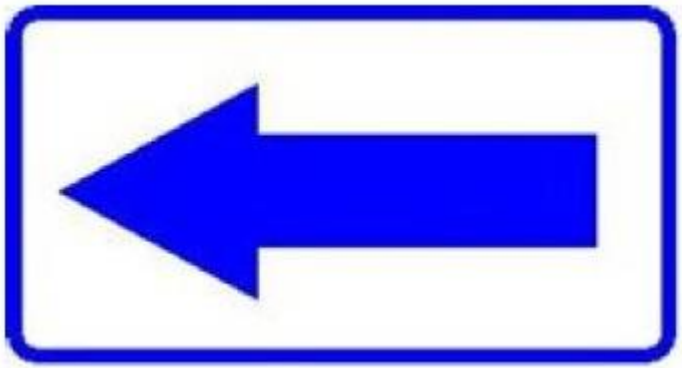


B

標識　②　正解

常時左折可を意味する標識はどちらですか？

Ⓐ



「信号に関わらず左折可能である
　ことを示す標示板」
対面の信号が赤でも左折だけはできる

B

「一方通行」

標識　③

「横断歩道」の標識はどちらですか？

A

B

標識　③　正解

「横断歩道」の標識はどちらですか？

Ⓐ

B

通学路など学童横断が多い場所の
横断歩道に設置されている

「学校、幼稚園、保育所等あり」

標識　④

「規制の始まり」の標識はどちらですか？

A

B

標識　④　正解

「規制の始まり」の標識はどちらですか？

A

矢印が右から左に向いているのが
「終わり」

B

矢印が左から右に向いているのが
「始まり」

標識　⑤

「駐停車禁止」の標識はどちらですか？

A

B

標識　⑤　正解

「駐停車禁止」の標識はどちらですか？

Ⓐ

B

標識の回りに数字が書かれている
場合は、その時間だけ禁止

「駐車禁止」

一時停止

一時停止標識にも赤信号を見た時と同じ緊張感を持つことが大切である

一時停止の目的は相手の存在や行動を確認すること

「ただ止まれば良い」ではなく
「安全確認をしなければ意味がない」

黄信号を正しく理解しているか

◆「黄色」の意味は？

×

【自動車・バイク・自転車】

停止位置から先へ進んではいけない。

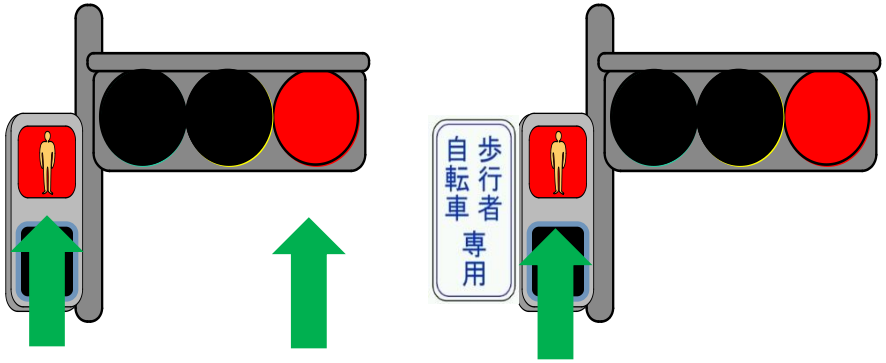
しかし、黄色の灯火に変わった時に停止位置に近づいて、安全に停止することができない場合は、そのまま進むことができる。

信号の解釈は人によってまちまちなのが実態。

黄色は「注意して進め」ではない。「止まれ!」

交差点での信号遵守と斜め右折の禁止

※従わなければならない信号



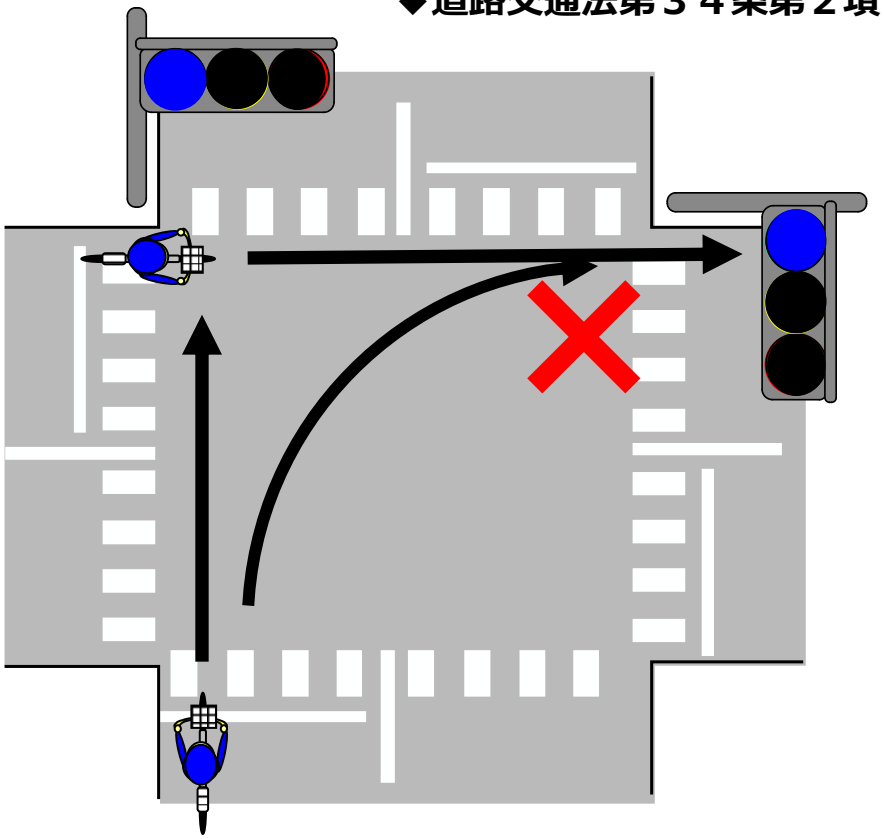
これ（歩道走行時）

これ（車道走行時）

これ（車道・歩道かかわらず）

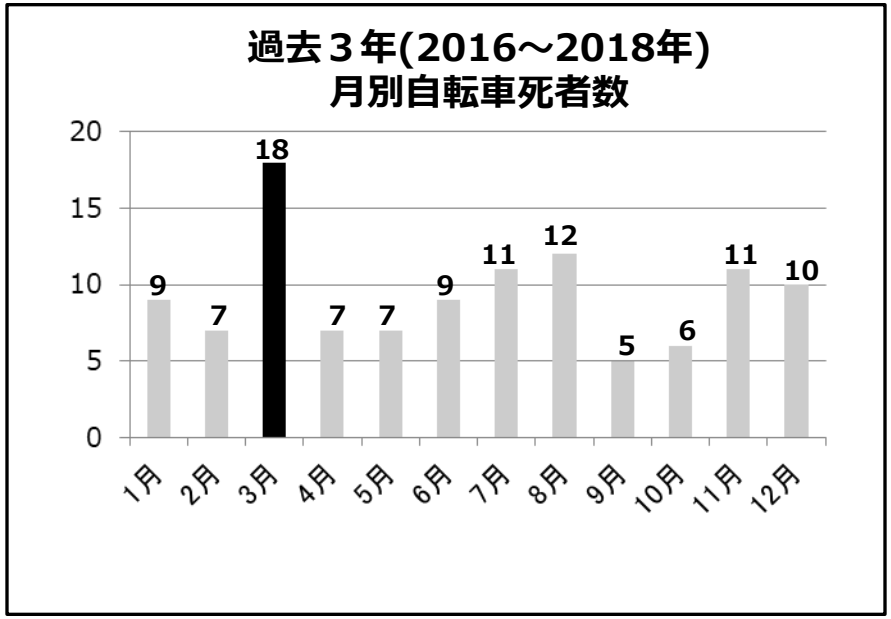
交差点を**右折する**時は、できる限り道路の**左側に寄り**、**二段階右折**をしなければならない。

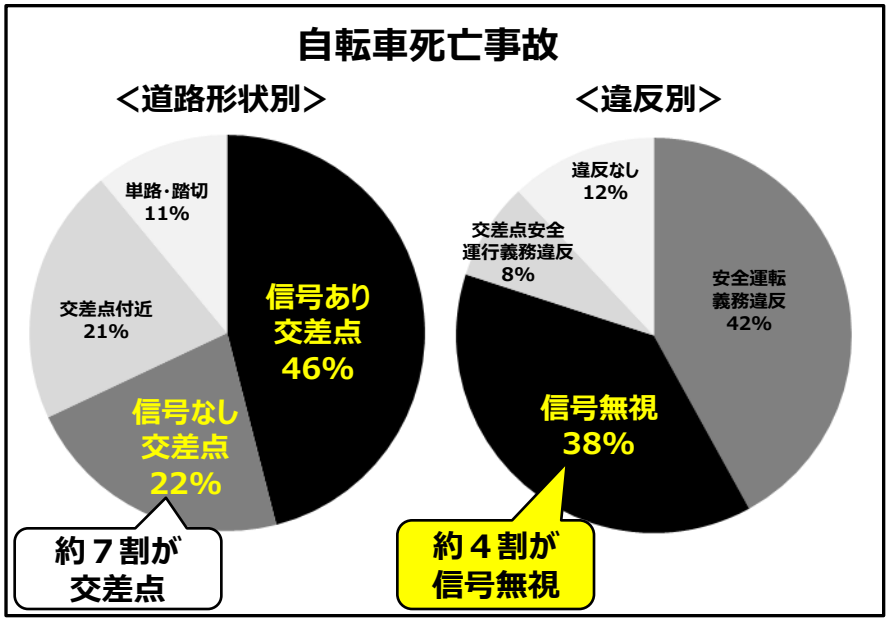
◆道路交通法第３４条第２項



自転車側事故原因の約４割が信号無視

信号のある交差点で発生する自転車の死亡事故





※大阪府警交通統計より

自転車は車の仲間！
信号は必ず守りましょう！

自転車に乗る前の点検整備

ブレーキと
ライトは、
必ず点検
しましょう!

点検の合言葉　ハ・ラ・ブッ・タ・ベ・サ

ハンドル	ライト	ブレーキ	タイヤ	ベル	サドル
しっかり固定されているか	明るくつくか	前後輪ともによく効くか	空気は入っているか	ちゃんと鳴るか	両足先が地面に着くか

交通ルールを守り、目の前の交通環境に気を配りましょう！

まずは小さな事故を防止しましょう

PISJ 保険キャラクター
「たすけくん」

安全第一！皆様の無事故をお祈りいたします！